

花火

作詞・作曲 丸山 真央
(中野市立中野小学校5年)
編 曲 大熊 崇子

- 1 夏の夜空に花がさく
黄色 赤青きれいだな
大きい花火もいいけれど
小さい花火もきれいだな

- 2 夏の夜空に花がさく
黄色 赤青きれいだな
一人で見るともいいけれど
みんなで見るのもきれいだな

花火

作詞・作曲 吉原 佑葉
(中野市立豊井小学校6年)
伴奏作曲 寺嶋 陸也

1 夏だ花火だ ドーンドーン
ヒュルルルル ドッカーン
ドンドン花火 パチパチ花火
いろんな音がきこえるね

2 夏だ花火だ キラキラ
ヒュルルルル ドッカーン
キラキラ花火 ピカピカ花火
夏の夜空はすてきだね

1年3組のじゃがいもほり

作詞・作曲 甕 早良
(箕輪町立箕輪北小学校1年)
編 曲 大熊 崇子

- 1 じゃがいもほりにいったよ
ひさいちの ひとにおくるよ
じゃがいも おいも コロコロ
とうほくの ひとにおくります
たくさんとれたよ おいもがコロコロ
うれしかったよ
- 2 じゃがいもほりにいったよ
ひさいちの ひとにおくるよ
じゃがいも おいも コロコロ
おおきな おいもをおくります
どっさりとれたよ おいもがコロコロ
たのしかったよ

やぎのゆきちゃん

作詞・作曲 逢沢 優李
(箕輪町立箕輪北小学校1年)
伴奏作曲 寺嶋 陸也

- 1 やぎのゆきちゃん メエメエメエ
さみしがりやの しろいゆきちゃん
一ねん二くみの だいじなゆきちゃん
メエメエ かわいいゆきちゃん
- 2 やぎのゆきちゃん メエメエメエ
やさしいおめめの しろいゆきちゃん
一ねん二くみの だいじなゆきちゃん
メエメエ ないてるゆきちゃん

華

作曲 安藤 敬芳

作詞 設楽 魅夢

橋本 涼子

甲田 花真

黒澤 綾

(上田市立塩田中学校3年)

編曲 寺嶋 陸也

- 1 銀杏並木の葉が色づいて
高くなる空見上げまた歩き出した
二人きりの放課後の教室
聞こえるかけ声 沈んでく夕日
まだうまくいかないことばかりで
つまづいてしまうけれど
前を見て進んでいけば
必ず道はできる

※一人一人が輝けるこの学校（ぶたい）を
今僕らで楽しもう思い出に残るように…。

- 2 青空の下汗を流しながら
走る仲間へたくさんのエール
それを歌声へと変えて
僕らの気持ちをそろえる
すべてが花になって
必ず咲けるはずさ
一人一人が輝けるこの学校（ぶたい）で
今その輝きを集めて花束にしよう

※※僕らの過ごしたかけがえのないこの瞬間（とき）は
大人になってもずっと忘れることはない…。

※ ※※ リピート
忘れることはない…。

影ふみ

作詞・作曲 星 奈菜子
(仙台市立五橋中学校3年)
補作 寺嶋 陸也

- 1 走る私の影が
東に向かって伸びる
夕日に向かって伸びて行く
揺れる影 揺れる心
自分の影を踏みたくて
走る私を追いかける

- 2 逃げる私の影が
壁に当たって折れる
挨拶するように
こちらに向かって立ち上がる
歪む影 歪む世界
自分の影に触れたくて
逃げる私に手を伸ばす

- 3 幾何学模様の影は
ジャングルジムの迷路
出口を探して
明日に向かって伸びて行く
かすむ影 願う心
自分の影を追い越して
未来の私を追いかける

自分の影を追い越して
光の中に舞い上がる

四季の姿

作曲 豊田 萌夏

作詞 酒井 琉衣

(北茨城市立関本中学校 2年)

編曲 大熊 崇子

- 1 春の声聞こえてる ちょうたちの笑い声
春の姿が見えている 花がひらくその時
君も分かるはず 春のおとずれが
新しい命が 生まれるその時を
夏の声聞こえてる 青葉がゆれる音
夏の姿が見えている きらりと光る太陽
君も分かるはず 夏のおとずれが
ひまわりが咲き誇り 太陽とハーモニー
- 2 秋の声聞こえてる 虫たちの歌声が
秋の姿が見えている 真っ赤に燃えるもみじ
君も分かるはず 秋のおとずれが
木の葉がほおを染め 森が赤くそまる
冬の声聞こえてる 雪たち踊る音
冬の姿が見えている 真っ白にそまる山が
君も分かるはず 冬のおとずれが
粉雪が降り積もり 光うけて輝く
仲間と共に待つよ つぼみが開く春を

門出

作詞・作曲 石倉 雄太
(長野県小諸高等学校2年)
補作 大熊 崇子

- 1 切ない季節の風がいつもより冷たくて
いつかはこの風さえも温かく感じるのかな？
「最近変わったよね？」「前の君の方がいいんじゃない？」
君の心自体も忘れてしまったの
どんな事があっても時代は進むけど
流されないようにいたい 自分を

※誰もがいつかはばたいて夢に向かってくから
その時悲しみを忘れられずに飛びたつとしても
君が笑顔でいられるように小さな力しかないけど
ずっとそばでささえてるから
強く支えてるから

- 2 「不安なことがつきない」
「何が正しいかも分からない」
君の信じる夢を歩き続ければいい
どんな事がおきても意味があるから
風に身をまかせて進んで

※くりかえし

今こそ君もはばたいてあの思い出さえも
背おってそれすらも糧にできたら
きっと進んで行ける
ずっと待っているから
ずっと…。